

平成23年度
21世紀土地改良区創造運動
北海道大賞

受賞地区の概要

～新たな水土里ネットの創造～

○道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織

○道民・国民の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に
担っていける組織
を目指して



平成23年8月24日

水土里ネット北海道
北海道土地改良事業団体連合会

はじめに

21世紀土地改良区創造運動(以下「21創造運動」)は平成13年度から始まり、14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含め土地改良区の役割の一層の発揮等に向けた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、平成16年度から「21創造運動北海道大賞」を選考しております。

21創造運動は、水土里ネットの役割・機能を再認識するなど自己確認、自己変革に取り組む(内部運動)とともに、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性と水土里ネットの果たす役割などについて広く理解の醸成を図る(外部運動)ものであります。今後とも水土里ネットが、道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、また、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展するためには、これからも着実に継続して21創造運動に取り組んでいかなければなりません。

本会といたしましては、この表彰を通じ、関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげ、さらなる運動の推進と新たな展開が図られるよう支援して参りたいと考えております。

2 1 創造運動北海道表彰について

1 . 2 1 創造運動表彰の趣旨

「水」「土」「里」は食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の発揮の基盤となる社会共通資本。道民・国民の財産であるこの「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、水土里ネットでは、農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して、21創造運動を積極的に展開している。

このような中で、模範となる運動を展開している水土里ネットの表彰を通じ、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげることにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚と意識改革を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資する。

2 . 2 1 創造運動表彰の選考経過等

(1) 選考対象

21創造運動に積極的に取り組み、北海道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与えうる運動を行っている水土里ネット。

(2) 選考方法

本会「21創造運動表彰選考委員会」が、道内77水土里ネットの取組状況を精査し、北海道大賞を選定する。

(3) 「21創造運動表彰選考委員会」委員

委員長	梅田安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	浜田哲	美瑛町長
委員	長澤徹明	北海道大学大学院農学研究院教授

委員	森	久美子	作家、エッセイスト
〃	小田	たず子	消費生活コンサルタント
〃	野城	正功	農政ジャーナリスト
〃	平見	康彦	北海道開発局農業水産部調整官
〃	中島	克彦	北海道農政部農村振興局長

(4) 選考基準

水土里ネットが取り組む21創造運動での愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、総合学習など学校教育との連携、先駆的な農業・農村振興、環境・景観保全、多様な広報などの推進において、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性で優れた活動が行われ、地域住民の理解促進や地域振興に貢献するなど運動の成果が認められること。

1) 運動の取組体制

役職員の積極的な参加 運動を担う後継者の育成

2) 運動の意味性

基本理念の明示 歴史の歴史の伝承 先駆的な取組

3) 運動の継続性・発展性

持続的な運動の展開 発展・拡大 運動の計画性 多様なツールの活用

4) 運動の成果

多様な連携 地域住民の理解 地域資源の保全強化
農地・水・環境保全向上対策との連携 地域に貢献

(5) 選考経過

表彰選考委員会

期 日 平成23年8月1日

選考内容

- ・21創造運動北海道表彰の実施方針と選考基準等について審議。
- ・道内77水土里ネットの創造運動の活動内容について、愛称普及 都市と農村の交流 関係団体・地域住民との連携 学校教育との連携 先駆的な農業・農村振興活動 環境・景観保全活動 多様な広報等 運動の成果 - の8項目に分類し、それぞれの項目で各水土里ネットがどのような活動を行い、どのような成果が上がっているのかを整理。

【北海道大賞の選考】

上記を踏まえて、これまで全国大賞、北海道大賞を受賞した以外の水土里ネットの中から、 から の全ての項目について積極的に取り組んでいる11水土里ネットを北海道大賞候補として選考。その中から、選考基準をもとに特に優れた活動を展開している4水土里ネットを北海道大賞に選定。

【全国大賞推薦の選考】

昨年度までに北海道大賞を受賞している21水土里ネットと、今回北海道大賞に選考された4水土里ネットの合わせて25水土里ネットの中から特に優れた活動を展開している1水土里ネットを全国大賞中央選考委員会（全国水土里ネット）へ推薦。

2 1 創造運動北海道大賞地区の概要

1. 水土里ネットながめま（ながめま土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

地区面積：8,774ha 組合員数：748戸 関係市町村：長沼町、由仁町
役職員等数：総代40名、役員15名、職員23名

（2）2 1 創造運動の概要と受賞ポイント

平成22年4月、「長沼」、「南長沼」の両水土里ネットが合併し、水土里ネットながめまが誕生。合併後も継続した活動を積極的に展開している。

都市と農村の交流活動では、地域のイベント等に参加し、農業農村整備事業の重要性、農業・農村が持つ多面的機能、農業用水の役割等をPRしている。

総合学習など学校教育と連携した活動では、町内の農業者グループや関係機関と連携し、小中学校の総合学習に協力している。

環境・景観保全活動では、農業用水等を活用した親水公園を整備し、地域住民の憩いの場として町民に開放している。

そのほか、多様な広報活動として、道道沿いに巨大な看板を設置し、水土里ネットや農業水利施設のPRや農業用排水路等での事故防止の啓発を行っている。

（3）2 1 創造運動の主な取組

都市と農村の交流

地域イベントへの参画

町のイベント「マオイ夢祭り」、「夕やけ市」に参画し、水土里ネット長沼のPRコーナーを設置。パネル展示や啓発グッズの配付などにより、農業・農村が持つ多面的機能、農業用水の役割等のPRを行っている。



学校教育との連携

小学校の総合学習等に協力

町内の農業者グループや町、JAなどの関係機関・団体と連携し、小・中学校の総合学習に全面的に協力。田植え体験を通じて「食料」「農業」「農村」の役割や大切さを伝えている。



環境・景観保全活動

農業用水等を活用した親水公園等の整備

農業用水等を活用したせせらぎ公園は地域住民の憩いの場として多くの町民に親しまれている。



多様な広報等

看板等の設置

道々沿いに巨大看板を設置し、水土里ネットや農業用水の役割などをPRするほか、農業用排水路等における事故防止を呼びかけている。



2. 水土里ネット旭川（旭川土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

地区面積：3,527ha 組合員数：635戸

関係市町村：旭川市、東神楽町、美瑛町

役職員等数：総代40名、役員12名、職員8名

（2）2.1 創造運動の概要と受賞ポイント

関係団体や地域住民等との連携活動では、当水土里ネットが管理する聖台ダム放水路が疏水百選に認定されたのを契機に、地域住民等と連携し、一層の景観保全活動に努めている。

総合学習など学校教育と連携した活動では、「水」をテーマにした小学校の総合学習に協力し、地元小学校の児童をダムや頭首工、用水路等へ案内し、農業用水の重要性や水土里ネットの役割などを紹介した。

先駆的な農業・農村振興活動では、農地・水・環境保全向上対策を積極的に推進しており、地区内の活動組織と緊密な連携を図り、活動計画などの助言・指導を行っているほか、より効果の高い活動を行うための支援を行っている。

そのほか、農業用水や水土里ネットの役割などを紹介したパンフレット等を作成し、地域住民へ広くPRしている。

（3）2.1 創造運動の主な取組

関係団体・地域住民等との連携

地域住民等と連携した景観保全

地域住民等と連携して、疏水百選に認定されている「聖台ダム放水路」周辺の一層の景観保全活動に努めている。



学校教育等との連携

小学校の総合学習に協力

西神楽小学校の児童をダム、頭首工、用水路等へ案内し、農業に不可欠な水の重要性、農業水利施設、水土里ネットの役割等を紹介した。



先駆的な農業・農村振興活動

農地・水・環境保全向上対策の積極的な推進

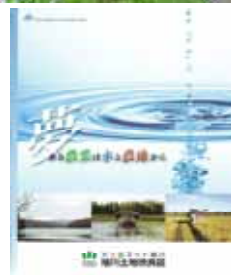
地区内の活動組織と緊密な連携を図り、活動計画などの助言・指導を行っているほか、より効果の高い活動を行うための支援を行っている。



多様な広報等

パンフレットや小冊子等の作成配付

農業用水や水土里ネットの役割などを紹介したパンフレット等を作成し、イベント等で広く配付している。



3. 水土里ネット美瑛（美瑛土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

地区面積：1,762ha 組合員数：290戸

関係市町村：美瑛町 役職員等数：総代34名、役員10名、職員4名

（2）21創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流活動では、地域のイベント等に参加し、農業農村整備事業の重要性、農業・農村が持つ多面的機能、農業用水の役割等をPRしている。

関係団体・地域住民等との連携活動では、農業者と地域住民からなる環境保全会が連携し、水路の草刈り、清掃活動を行い、景観・環境保全に努めている。

先駆的な農業・農村振興活動では、農地・水・環境保全向上対策の活動組織と密接な連携を図り、地域内の農地・農業用施設等の保全に向けて、効果の高い活動を行うための支援を行っている。

そのほか、農業用水や水土里ネットの役割などを紹介したパンフレット等を作成し、地域住民へ広くPRしている

（3）21創造運動の主な取組

都市と農村の交流

地域イベントへの参画

地域のイベントや農業まつりに積極的に参加し、農業農村整備事業、農業・農村が持つ多面的機能、農業用水の役割等をパネルやパンフレットで紹介している。また、「雪上絵フェスティバル」では、農地・水・環境保全向上対策の活動組織と連携して、「トンボの未来・北の里づくり」のロゴマークを雪上に描き、活動のPRを行っている。



関係団体・地域住民等との連携活動

地域住民等と連携した環境保全活動の推進

農業者や地域住民からなる景観保全会と連携し、水路の草刈りや清掃作業を行い、農業施設が持つ多面的機能の発揮と景観保全活動に努めている。



先駆的な農業・農村振興活動

農地・水・環境保全向上対策の積極的な推進

活動組織と密接な連携を図り、地域内の農業用施設の景観保全等に向けて、より質の高い活動を行うための支援・協力を行っている。



多様な広報等

パンフレットや小冊子等の作成配付

農業用水や水土里ネットの役割などを紹介したパンフレットを作成し、イベント等で広く配付している



4. 水土里ネット渡島平野（渡島平野土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

地区面積：4,719ha 組合員数：1,322戸

関係市町村：北斗市、七飯町、函館市

役職員等数：総代47名、役員18名、職員7名

（2）2.1 創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流活動では、関係機関と連携し、広く参加者を募ってウォーキングを実施。農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性などをPRしている。

関係団体、地域住民等と連携では、地域住民の一般参加を募り、農業水利施設見学会を開催し、水土里ネットの役割や農業用水、農業水利施設の重要性などをPRしている。

学校教育との連携では、近隣市町の小学校の総合学習「田んぼの学校」に協力し、田植え、生育観察、稲刈り体験等を行っている。

そのほか、環境・景観保全活動では、施設の改修を機に水路に親水機能を整備し、地域住民へ広く開放している。

（3）2.1 創造運動の主な取組

都市と農村の交流

地域イベントへの参画

関係機関と連携して、「水土里の道ウォーキング～ふっくりんこの里を訪ねて」を実施し、農業用水等の資源保全の重要性や水土里ネットの役割をPRしている。



関係団体・地域住民等との連携

農業水利施設見学会の開催

近隣市町の一般住民の参加を募り、頭首工、揚水機場などの農業水利施設のほか、関係機関の協力により、水力発電所や水源である大沼の湖上からの見学を実施し、農業用水や水土里ネットの役割等をPRしている。



学校教育との連携

小学校の総合学習に協力

近隣市町の小学校の総合学習「田んぼの学校」に協力し、田植え、生育観察、稲刈り等を行っている。



環境・景観保全活動

農業用水等を活用した遊歩道の整備

水路の改修を機に、生物に配慮した整備と併せ、親水機能も整備し、地域住民へ広く開放している。

